



TARA Seminar

16:00~, Nov 5th, 2018

Seminar room, Building A, TARA Center

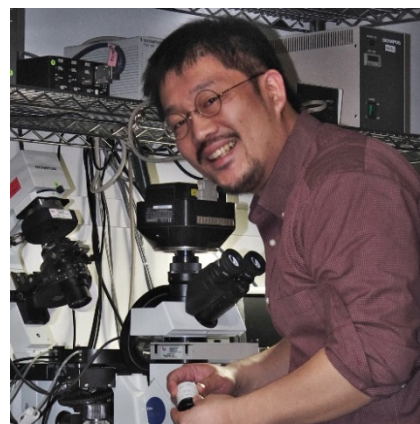
山縣 一夫 先生

Kazuo Yamagata, Ph.D.

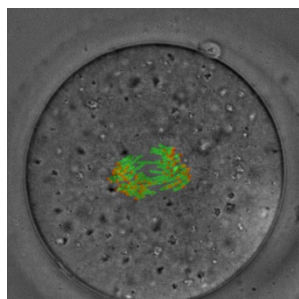
近畿大学大学院生物理工学研究科・准教授

哺乳動物受精卵ライブセルイメージングの 構築とそれによる胚の質評価

不妊症が増えている。その原因の多くは晩産化にともなう卵子の質の低下であると考えられている。我々はこの「質」の実態を明らかにするため、受精卵ライブセルイメージング技術やその定量的解析法の開発を行ってきた。



本セミナーでは、開発に至るこれまでの取り組みに加え、老齡マウスやウシ胚、ヒト胚を用いた質評価に関する最新のデータを紹介したい。



[講演内容に関連する論文等]

- 1) 野老美紀子ら、「哺乳類生殖系列におけるクロマチンリプログラミング」実験医学増刊Vol. 36, No. 17, 2018.
- 2) 八尾竜馬ら、「ライブセルイメージングを用いた胚の質の定量的評価法と応用」J Mamm Ova Res Vol.32, p149-157, 2015.

連絡先：筑波大学 生命環境系/TARAセンター
谷本啓司 keiji@tara.tsukuba.ac.jp (Tel : 029-853-7300)

